

アワジハネナシナガキマワリ

兵庫県：要調査

Strongylium tanakai

環境省： —

種の概要

体長10.4～11.5mm程度。体は光沢のある赤褐色から暗赤褐色で、上翅は光沢のある黒色。同属のヒメナガキマワリに似るが、複眼が小さく前胸背板の後角が突出せず、後翅が退化するなどの特徴により区別される。低山の樹林に生息するが、生態の詳細は不明。淡路島では成虫は5月に得られている。



写真提供：安藤清志

国内分布

本州

県内分布記録

洲本市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
			○		○

特記事項

2003年に新種として記載された。県内の既産地は洲本市先山のみ。その後、瀬戸内海その他県島嶼では確認されているが、県内での記録はない。

保護上の留意点